令和２年度　学校だより　１月号

～ひとがすき　まちがすき　いわさきの子～
横浜市立岩崎小学校　　電 話 ３３１－５１２３
ＦＡＸ ３３１－５３４３

温故知新　～新年に際し、岩崎小の 90 年を振り返る～

校長　小林　雅弘

新元号の「令和」が発表されたのがついこの間のように感じますが、時の経つのは早いもので新しい年、令和３年を迎えました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

「温故知新」という言葉があります。「故(ふる)きを温(たず)ねて、新しきを知る」という意味ですが、新年を迎えたこの節目に、創立 90 周年を迎えた本校の歴史を振り返ってみたいと思います。

本校は昭和５年に「横浜市岩崎尋常小学校」として開校しました。開校当時この地域は、丘陵地帯で桜が咲き誇る名所でした。そこで、毎年花を咲かせる桜の美しさと発展性を教育の理念と重ね、初代校長の西方貞直先生と教頭の岡野頴次郎先生の考案により上記の校章が制定されました。初年度の児童は 751 名と今の倍以上の数がいたにもかかわらず、教員は今の半分以下の 14 名でした。最も児童数が多かったのは、昭和 35 年でその数 1604 名、33 学級もありました。現在の近隣校、桜台小、初音が丘小、瀬戸ケ谷小、権太坂小はすべて本校から分離・独立・開校しました。また長い歴史の中ではつらく厳しいこともありました。昭和 19 年には高等科生徒 108 名が学徒勤労動員＊として仕事を強いられたり、児童の多くが疎開したり、教室の一部が軍隊の宿舎になったりと戦争中の様子も校長室にある資料の記録に残されていました。改めて 90 年という時間の長さとそこに一つ一つの歴史を刻んでこられた人々の努力や苦労があって今があることを実感した次第です。

そのようなつながりを経て、先月 12 月５日(土)に創立 90 周年記念式を行うことができました。当日は午前中のみの３部構成で、第１部は横浜市消防音楽隊の演奏鑑賞、第２部は記念集会として低・中・高学年に分かれた子どもたちの発表、そして第３部は、全校児童・実行委員・教職員・来賓での記念式典を体育館で行いました。学年の発表の際には、演技スペースの確保と密の回避のために、他の学年は教室でテレビ放送を通して見合いました。また、お招きする来賓も最小限とし、時間もコンパクトに行うなど、感染リスクを考慮したうえでの開催となりましたが、児童実行委員の６年生を中心に、子どもたちの主体性が存分に発揮された素晴らしい一日となりました。

「現在」は、これまで先人がこつこつと積み上げてきた**「過去」**のうえに成り立っています。そして**「未来」**は現在いる人々によって一歩一歩築かれていきます。これまで長きに渡り、本校を支えてくださった保護者や地域の皆様に感謝をするとともに、無事 90 周年記念式を行うことができたことを大変うれしく思います。今後も教職員一同一丸となって、一人ひとりの子どもたちの笑顔のためによりよい教育活動を進めていきたいと強く心に誓う新年となりました。

＊学徒勤労動員…戦時中、農村や工場の労働力不足を補うために強制的にすすめられた生徒の動員